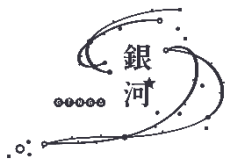


2022年9月21日
西日本旅客鉄道株式会社



2022 秋の特別運行 「WEST EXPRESS 銀河」山陰方面に運行します！

長距離列車「WEST EXPRESS 銀河」は、2022年5月～9月に山陰コースを運行し多くのお客様にご利用頂きました。この度、2022年の秋期に2往復特別運行することが決まりましたのでお知らせします。

1往復目は、「山陰鉄道開業120周年」を記念して、初めて鳥取県の米子駅を着発地とした商品を設定いたします。特別企画として、JR西日本管内で唯一、現役で活躍している「扇形車庫」の見学と特別な体験をご用意しました。

2往復目は、「神在月」にあわせて、島根県の出雲市駅を着発地とした商品を設定いたします。特別企画として、最高ランクの「しまね和牛」を使用した豪華なお弁当をご用意しました。

今回の特別運行においても、沿線地域の皆様のご協力のもと、山陰ならではの「おもてなし」をご用意します。長距離列車「WEST EXPRESS 銀河」による、山陰の旅を、どうぞお楽しみください。

新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、変更となる場合があります。

1. 運行概要について

■ 「WEST EXPRESS 銀河で行く 山陰鉄道開業120周年記念 名車両展示会」



(1) 運行日

【往路】10/31(月) 新大阪駅 22:17 発 ～ 11/1(火) 米子駅 7:46 着

【復路】11/2(水) 米子駅 17:48 発 ～ 11/3(木・祝) 京都駅 6:43 着

(2) 主な特別企画・乗車特典等

①「名車両展示会」～山陰鉄道を支えた旧米子機関区車庫(現:扇形車庫)の見学と特別な体験～
山陰鉄道開業時に米子機関区車庫として建設され、昭和30年(1955年)3月に改築され現在も現役で活躍している米子駅の構内にある「扇形車庫」を今回特別に間近で見ることが出来ます。

<内容(予定)>

※見学内容・形式・ヘッドマークは変更となる場合もございます。

- ・DD51ディーゼル機関車にヘッドマークをつけて展示(出雲・トワイライトエクスプレス・サロンカーなにわ・サロンカーおわらのヘッドマークを予定)
- ・扇形車庫内側・外側撮影案内
- ・転車台にて車両回転
- ・扇形車庫の歴史説明
- ・その他体験等



※写真はイメージです

②山陰鉄道開業120周年記念 銀河歓迎セレモニー ～特別な「WEST EXPRESS 銀河」のお出迎え～
山陰鉄道開業120年となる11月1日(火)の「WEST EXPRESS 銀河」米子駅到着に合わせて、関係者(出席予定:鳥取県知事、米子市長、境港市長、大山町長、JR山陰支社長、米子駅長)によるお出迎えと記念セレモニーを実施します。

③乗車特典Ⅰ「山陰鉄道開業 120 周年記念復刻駅名券」

10月31日(月)新大阪発又は11月2日(水)米子発の「WEST EXPRESS 銀河」にご乗車いただいたお客様には、「山陰鉄道開業 120 周年記念復刻駅名券(銀河乗車記念)」をお渡しします。

※復刻駅名券は開業当時の駅名(境、大篠津、後藤、米子、淀江、御来屋)で作成しています。

④乗車特典Ⅱ「星取県コラボ商品(星取ジェラート)引換券付き銀河記念乗車証」

10月31日(月)新大阪発又は11月2日(水)米子発の「WEST EXPRESS 銀河」にご乗車いただいたお客様には、山陰鉄道開業 120 周年を記念した「星取県コラボ商品(星取ジェラート)引換券付き銀河記念乗車証」をお渡しします。

この度、山陰鉄道開業 120 周年を記念して、初めて鳥取県の米子駅を着発地とした商品を設定いたします。この機会に魅力溢れる米子の観光地に、足を運んでみてはいかがでしょうか。



絶景の城 米子城



皆生温泉



弓ヶ浜サイクリングコース

【米子観光ナビ】<http://www.yonago-navi.jp/>

■「WEST EXPRESS 銀河で行く 神在月の山陰へ 列車ご縁旅」

(1) 運行日

【往路】11/4(金)新大阪駅 22:17 発 ~ 11/5(土)出雲市駅 9:31 着

【復路】11/5(土)出雲市駅 16:00 発 ~ 11/6(日)京都駅 6:43 着

(2) 主な特別企画・乗車特典等

①島根県の豪華食材を使用したお弁当提供

2022年10月6日~10日に鹿児島県で開催される「全国和牛能力共進会(通称:和牛オリンピック)」(5年に1度開催)を記念して、島根県から出品した「しまね和牛」を使用したお弁当を提供することになりました。全国的にも高い評価を受けている「しまね和牛」をご堪能下さい。

<メイン食材の内容(予定)>

- ・「和牛オリンピック in かがしま 2022」に出品した最高ランクのしまね和牛
- ・化学合成農薬や化学肥料を使わずに育てた島根の有機農産物



■しまね和牛の特徴

出雲の歴史には古くから牛が登場し、出雲大社には「神牛」が奉られています。江戸から明治時代には「たたら製鉄」の役牛として改良が進み、優良な和牛の産地として全国に名を馳せてきました。過去、和牛オリンピックで2度の内閣総理大臣賞を受賞したのをはじめ、近年では全国の主要な牛肉品評会で最優秀賞を獲得するなど高い評価を受けています。その肉質は、やわらかさとうま味が際立ち、さらっとした脂がしつこさを感じさせません。

